

健康教育実践記録

第6学年1・2組		指導者	瀧口 準 ・ 山田 百合子 ・ 学校薬剤師の先生	
題 材	薬物乱用の害			
ねらい	薬物乱用の意味を理解し、薬物乱用が体に重大な障害を与えたり、犯罪や事故を引き起こすもとなるなど、薬物乱用の怖さを知る。			
本時の活動		(実践日 平成28年2月10日水曜日 第3校時)		
児 童 の 活 動		児童の主な反応・様子		
<p>1. 「薬物乱用」の言葉を知り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「薬物乱用」の怖さについて考えよう。</div> <p>2. GTの薬剤師さんの話を聞き、「覚醒剤」を例に、使用すると体にどんな症状が表れるのかを知る。</p> <p>3. 薬物に対する「耐性」や「禁断症状」などについて知り、DVDで体験者の話を聞く。</p> <p>4. 人からすすめられた場合にどうすればいいか考える。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">薬物乱用は体と心と人生をこわす。さわられても、はっきりと断ることが大切。</div>		<p>○ GTの話を読み、覚醒剤や違法ドラッグについて知る。</p> <p>○ DVDを見た後、GTの解説を読み、覚醒剤の怖さを知り、驚きの表情や怖がる表情を見せる。</p> <p>○ ドラッグのレプリカを見て、通常の薬剤と見分けがつかないことに驚く。 C：風邪薬みたい。 C：ラムネみたい。 C：（袋が）お菓子みたい。</p> <p>○ しっかりと聞き入っていた。</p> <p>○ C：きっぱりと断る。 C：その場から逃げる。</p> <p>○ 今日の学習で、分かったことや考えたことを感想文にまとめる。</p>		
指導を終えての考察				
<p>児童の感想では、「一度でも薬物をしてしまうと『薬物乱用』になると知った。一度してしまうとやめられなくなるので、とても怖いと思った。絶対にしない。」「ラムネみたいなドラッグがあってびっくりしました。私がもし知らなかったら、食べてしまうかも知れないと思いました。それに、やせる薬と言われたら、知らなかったら飲みたいと思うと思いました。今日いろいろと知れたので良かったです。」など、児童がそれぞれに感じ取っていたことが伺えた。また「体と心と人生をこわす」という言葉は児童には大変伝わり易かったようであった。はっきりと断る意志と態度の育成につながられたと感じている。</p>				